

各ブロックの試合が終わったら…

1. 各チームは

速やかにコードNo.1の
幹事チームにオーダー用紙を郵送



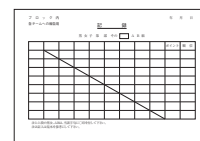
2. 幹事チームは



とりまとめて



リーグ戦プログラムページ末の



記録を作成し、
①ブロック内各チームへFAX。
②東京都テニス協会に郵送。
(全試合のオーダー用紙を添える)

3. 各チームと協会は

「記録」を見て、
①順位を確認して決勝大会会場へ。
②協会は賞状を作成し、会場へ。

4. 決勝大会

★各チーム大会要領をよく読んでから
大会に出場しましょう!!

1. 日程の最終日から3日以内に幹事にオーダー用紙を送付すること。最終予備日を使って試合を行ったチームは試合終了後翌日には幹事チームにオーダー用紙を送付する。
2. 幹事チームは、決勝大会の3日前までには各チームと協会宛に記録を送付すること。万一各チームからのオーダー用紙の到着が遅れた場合は、各チーム連絡者に問い合わせし協会宛にお電話でお知らせ下さい。
3. 決勝大会（決勝戦・入替戦）に出場する可能性のあるチームは、幹事チームからの報告が遅ければ自分から幹事に確認を取ること。「報告が無かったから知らなかった。」というのは理由になりません。また、協会からは日程に変更がない限り決勝大会へのご案内は致しません。
4. 決勝大会は絶対に無断欠席しないこと。相手チームが迷惑します。

ラウンドロビン（総当たりリーグ戦）方式における順位決定方法

チームの勝率高い方を上位とする。（例：3勝、2勝1敗、1勝2敗、3敗）

A) 2チーム（者）が同率になった場合は、互いの対戦結果（直接対決）の勝者。

B) 3チーム（者）が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

- ① 合計の勝利試合数の多いチームが上位
- ② ①が同じ場合、全試合での取得セット率（%）
- ③ ②が同じ場合、全試合での取得ゲーム率（%）

C) ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。（例：3セットマッチなら 60 60）

D) けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。（A対Bの3セットマッチで、Bが63 22のとき、けがでリタイアした場合、勝者はAでスコアは、36 62 60 と記録する。）

<平成28年度秋季リーグ戦における順位決定方法>

「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120「ラウンドロビン方式」における順位決定方式①（※）に拘わらず、秋季リーグ戦プログラムP.26「ラウンドロビン（総当たりリーグ戦）方式における順位決定方法」記載通りの方法で最終順位を決定する。

（※）「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120より抜粋

- ① 完了試合数の多いチーム（者）を上位とする。ノーショウ、ウィズドロー、リタイアをした試合は完了試合とされない。ただし、その相手チーム（者）は完了試合となる。例外としてリタイアした選手が医師の診断書または大会トレーナー・大会ドクターの診断書を当日提出した場合は完了試合とするが、リタイアした選手は同日の他の試合に出場することはできない。

詳細については、「JTA TENNIS RULE BOOK 2016」P.120をご参照下さい。